

地域密着型金融の進捗状況

(平成24年度)

平成25年6月

 八千代銀行

目次

はじめに	・ ・ P3
平成23～25年度における地域密着型金融の取組みについて	・ ・ P4
平成24年度における目標数値の達成状況	・ ・ P5
主な具体的支援実績	・ ・ P6～7
具体的な取組み	
1. ライフステージに応じた取引先企業の支援強化	・ ・ P9～12
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	・ ・ P13～14
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	・ ・ P15～20

はじめに

◆経営理念

「中小零細企業および勤労大衆のための金融機関として、金融業務を通じて地域社会の繁栄に貢献する」

◆コーポレート・マークについて

当行のコーポレート・マークは、当行の頭文字“Y”をデザイン化した象形にもなっておりますが、このマークの発想のモチーフとしたのは「大樹」です。

地域金融機関である当行が地元を愛し、地域社会という大地にしっかり根ざし、天を貫いてイキイキとそびえたつ大樹と、そこに住む人々にさわやかな夢と繁栄の実りを提供する「青空」を発想の原点にして、地元にも密着した親しみやすい八千代のイメージをシンボライズしたものです。そして、当行の経営理念のもと、お客さまにとって身近な銀行として、地域社会に貢献するという使命を表現しております。

右上方への3本の曲線は、限りない飛躍と発展を続ける方向、および天に指向する活力に満ちた躍動感を意味すると共に、当行・顧客や地域の人々・地元企業の3者も表しており、大樹のもとに親しみと相互信頼の手をしっかりと結び合い、隣保共助の精神を持ち、イキイキとして限りない反映を続け、潤いのある豊かな地域社会を築きあげていこうという願いも込められております。

◆コーポレート・カラーについて

当行のコーポレート・カラーは、“青空”スカイブルーの設定です。スカイブルーは「果てしなく広がる澄み切った青空の明るいブルー」であり、“八千代ブルー”と名付けております。このカラーは、マークとともに「大樹」「青空」から発想し、開発したものです。また、＜清潔＞＜若さ＞＜誠実＞＜知性＞＜親切＞の意味があります。



平成23～25年度における地域密着型金融の取組みについて

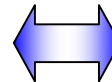
当行は、平成23～25年度中期経営計画において、「経営資源の有効活用による時代に即した営業体制の構築」、「地域での評価を高められる融資推進力の強化」、「地域顧客から信頼される内部管理態勢の確立」、「企業活力の向上に向けた行員の満足度の充足」といった地域密着型金融を意識した重点施策と、各々についての具体的な施策を掲げております。

当行の中期経営計画と「地域密着型金融の取組み」は、同じ考え方に基づいて策定しておりますので、「地域密着型金融の取組み」の三つの柱となる『ライフステージに応じた取引先企業の支援強化』、『事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底』、『地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献』を着実に実行することで、お取引先のみなさまのご発展や地域経済の活性化に貢献すると同時に、当行の経営計画を達成してまいりたいと考えております。



平成23年～25年度中期経営計画

1. 経営資源の有効活用による時代に即した営業体制の構築
2. 地域での評価を高められる融資推進力の強化
3. 地域の顧客から信頼される内部管理態勢の確立
4. 企業活力の向上に向けた行員の満足度の充足



地域密着型金融への取組み

1. ライフステージに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

具体的な取組み (8～20ページ)

地域のお客さま

平成24年度における目標数値の達成状況

地域密着型金融への各施策を実施した結果、平成25年度の目標数値に対する平成24年度実績は以下の通りとなりました。

重点事項	目標とする指標	平成24年度実績	平成25年度目標
収益性の向上	コア業務純益ROE	4.43%	10% (平成25年度)
生産性の向上	OHR	76.48%	60%台 (平成25年度)
健全性の向上	開示債権比率 (金融再生法基準)	4.84%	3%台 (平成25年度)

コア業務純益 業務純益－国債等債券損益＋一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益ROE コア業務純益÷純資産末残×100 (平残ベースの平成24年度実績は4.57%)

OHR 経費÷業務粗利益×100

主な具体的支援実績-1

(1) 審査部企業支援課とシブヤ創業サポートオフィスを中心に、創業・経営改善・事業再生の支援に取り組みました。また、さがみはら産業創造センター(SIC)※等外部機関と連携し、コンサルティング機能の強化に努めております。

経営改善支援取組み先数	760先	経営改善支援取組み率	10.7%
再生計画策定先数	402先	再生計画策定率	52.9%
ランクアップ先数	32先	ランクアップ率	4.2%
創業・新事業支援融資実績	58先	448百万円	

※ 起業家育成、中小企業の活性化を目的としたビジネスインキュベータです。当行等民間企業のほか、相模原市や中小企業基盤整備機構も出資している第3セクターです。「八千代起業家支援プログラム」を通じ、相模原市内だけでなく営業エリア全域の事業をされているお客さまの支援を行っております。

(2) 中小企業向けの当行独自融資商品を中心に活用し、実態把握に基づいた適切なリスクテイクを行うことで、お取引先への安定的な資金供給に取り組んでおります。

プレステージローン実行実績	950件	16,588百万円
バリューアップローン実行実績	195件	1,926百万円

主な具体的支援実績-2

(3)環境・教育・介護を通じた地域社会への貢献や活性化に取り組んでおります。

- ①地域のお客さまの環境への取組みをお手伝いするために、当行独自の環境評価融資制度「八千代ECOリンクローン※1」を取り扱っております。
- ②『JFAこころのプロジェクト「夢の教室」※2』の活動をお手伝いするために、「夢先生応援定期預金」を取り扱っております。

八千代ECOリンクローン実行実績	17件	1,067百万円
------------------	-----	----------

夢先生応援定期取扱実績（25年3月末実績）	18,037件	40,118百万円
-----------------------	---------	-----------

※1 八千代銀行独自の「環境評価モデル」を用い、その結果に基づく金利を当行所定の基準金利から引下げいたします。一定水準を上回る環境への取組みをされているお客さまには、当行役員等から記念の盾を贈呈しており、かたちに残る取組みとして評価を得ております。

※2 「JFAこころのプロジェクト」とは、「一人でも多くの子供たちへ、夢を持つことの素晴らしさを伝えたい」という思いから、公益財団法人日本サッカー協会が立ち上げたプロジェクトです。各種スポーツ界で活躍している選手、OB/OGの方々が「夢先生」として小学校を訪問し、自らの体験を通して「夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さ」等を子供たちに伝える「夢の教室」と呼ばれる授業を行っております。

(4) 年金や介護・相続の相談会等の定期的な開催を通じ、相談機能を強化しております。

年金相談会実施実績	72店舗	のべ786回
-----------	------	--------

介護相談会実施実績	58店舗	のべ200回
-----------	------	--------

相続個別相談会実施実績	36店舗	のべ81回
-------------	------	-------

具体的な取組み

1. ライフステージに応じた取引先企業の支援強化

- (1) 創業・新事業支援
- (2) 経営相談・改善支援
- (3) 事業再生支援
- (4) 事業承継
- (5) 中小企業経営力強化支援法施行に伴う認定支援機関の活動

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み
- (2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底
- (3) 人材育成への取組みの強化

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- (1) 地域の再生と地域社会への貢献
- (2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供
- (3) CSR活動

平成24年度取組み実績

1. ライフステージに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

① 中小企業の創業・新事業展開・育成支援

- シブヤ創業サポートオフィスでは100先からの各種相談に応じたほか、7件の相談先に対して61百万円の融資を実行いたしました。
- さがみはら産業創造センター（SIC）において、28先の創業・新事業支援を行いました。

② 各種ファンドを活用した支援

- ベンチャーキャピタルに対する新たな出資はありませんでしたが、ベンチャーファンドが出資する企業に対し、2件・150百万円の融資を実行いたしました。

(2) 経営相談・改善支援

① 事業展開の支援

- 「八千代ビジネスクラブ」の会員を中心に、「交流会」等を利用した販路開拓支援に取り組んでおります。また、地域の各種展示会に当行ブースの出展等を行っております。
- 平成24年7月に、第二地方銀行協会加盟行共催による「『食の魅力』発見プロジェクト2012」に参加し、スーパー・百貨店・コンビニエンスストア・食品商社・外食・ホテル等の担当バイヤーとの商談機会を提供いたしました。
- 平成25年2月に、東京都民銀行との共催によるビジネスマッチングイベント「TOKYO ECO STYLE展2013」を開催いたしました。
- ジェットロ食品輸出商談会 in 千葉・受発注商談会（相模原会場）・神奈川R&D技術展示商談会2012 in NISSANの出展者募集に協力いたしました。
- ふちゅうテクノフェア、としまものづくりメッセに当行ブースの出展を行いました。



シブヤ創業サポートオフィス



TOKYO ECO STYLE展2013



当行ブース例

@1989, 2013 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G540968

平成24年度取組み実績

1. ライフステージに応じた取引先企業の支援強化

(2) 経営相談・改善支援

②企業の海外進出支援

- 外部機関と連携してセミナーを開催し、お取引先のアジア地域を中心とした海外進出の支援に取り組んでおります。
 - ・平成24年4月 「海外進出支援フォーラム」(SICとの協働開催：参加企業数29社、38名)
 - ・平成24年5月 「としまビジサポセミナー」(豊島区との協働開催：参加企業数63社、88名)
 - ・平成24年7月 「海外進出支援フォーラム」(町田市・SICとの協働開催：参加企業数64社、73名)
 - ・平成25年1月・2月 「日本・台湾アライアンスセミナー」(法政大学、SIC、神奈川県中小企業団体中央会との協働開催：参加企業数69社、113名)
- 平成24年5月に、事前完全予約制の「個別相談会」を開催いたしました(参加企業数5社、9名)。
- 平成24年9月に開催された「SIC台湾ビジネスマッチング」に協賛・協力いたしました。

③経営改善支援

- 返済条件の変更等を実施したお取引先の経営状況の確認や経営改善計画の策定指導・進捗状況の検証を定期的に行い、金融円滑化の推進に基づく適切な助言や支援等のコンサルティング機能の発揮に取り組んでおります。
- 760先に対し経営改善を支援する取組みを行ったことで関係が強化され、貸出条件を円滑に緩和できるケースが増加いたしました。また、経営相談に応じる機会が増加し、経営改善の進捗を加速することができました。



日本・台湾アライアンスセミナー



SIC台湾ビジネスマッチング

平成24年度取組み実績

1. ライフステージに応じた取引先企業の支援強化

(3) 事業再生支援

① 事業価値・事業の継続性を見極め、取引先の事業再生を図る

経営状態に課題があり、事業再生スキームの構築や金融機関の調整等が必要なお取引先に対し、必要に応じて弁護士や税理士等の専門家や、中小企業再生支援協議会等の外部機関と連携して事業再生への支援強化に取り組んでおります。

平成25年3月末に中小企業金融円滑化法の期限が到来いたしました。当行が従来から進めてきた金融円滑化に対する取組みは不変であり、今後もこれまでと変わることなく、お客さまからのご相談に真摯に対応してまいります。

○中小企業再生支援協議会と29先、企業再生支援機構と2先の案件について連携する等事業再生支援に取り組みました。

○平成23年12月に設立された「かながわ中小企業再生ファンド」に続き、主に東京都内の中小企業の再生支援のために平成25年1月に設立された「とうきょう中小企業支援ファンド」に出資いたしました。

外部機関と連携した事業再生支援先数

中小企業再生支援協議会	企業再生支援機構	板橋区企業活性化センター	中小企業支援ネットワークアドバイザー	かながわ中小企業再生ファンド	とうきょう中小企業支援ファンド	他外部機関
29	2	3	3	3	4	2

平成24年度取組み実績

1. ライフステージに応じた取引先企業の支援強化

(4) 事業承継

①外部機関等との連携によるセミナーの開催	○外部専門家（経営・税務・法律等）や保険会社による無料セミナー・相談会を開催し、事業承継を円滑に進めるための情報提供等を行いました。
②自社株評価や相続・M&A等の支援	○営業店と本部担当者の同行訪問により、お取引先への自社株の概算評価試算や、経営者の相続対策としての相続税試算、安定株主対策や株価対策、株式移転手法に関する提案を128件実施いたしました。

(5) 中小企業経営力強化支援法施行に伴う認定支援機関の活動

①コンサルティング機能の提供について	<p>「金融円滑化法」の最終延長を踏まえた中小企業者向けの支援施策として、「中小企業経営力強化支援法」が施行されました。あわせて、中小企業者の課題に対して支援を行う専門家「認定支援機関」の認定制度が開始され、当行は平成24年11月に「認定支援機関」に認定されました。</p> <p>○「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」の応募に必要な「確認書」の発行を通じ、事業計画の内容を精査することでお取引先の事業内容をより深く把握し、計画の進捗や資金計画の支援等、更なるコンサルティング機能の強化に取り組んでおります。</p>
--------------------	--

平成24年度取組み実績

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

<p>① 流動資産担保融資等の活用</p>	<p>売掛金や在庫（製品・商品）、機械・設備を担保として利用したABLや機械担保融資、業務提携先の三井住友信託銀行との連携による金銭債権流動化等の提案の促進により、資金供給の多様化に取り組んでおります。</p> <p>○売掛債権を担保とした「流動資産担保融資保証制度」を19件、224百万円取り扱いました。</p>
-----------------------	---

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

<p>① 安定的な資金供給</p>	<p>当行の信用格付制度と外部のスコアリング（財務判断指標）を組み合わせた中小企業向けの融資商品（八千代プレステージローン・八千代バリューアップローン）等を活用し、お取引先の実態把握に基づいた適切なリスクテイクを行うことにより安定的な資金供給に取り組んでおります。</p> <p>○「八千代プレステージローン」を950件、16,588百万円、「八千代バリューアップローン」を195件、1,926百万円実行いたしました。</p> <p>中小企業診断士等の有資格者を活用し、コンサルティング機能を発揮することにより、事業をされているお客さまを支援する融資に取り組んでおります。</p> <p>○今後の成長分野と想定されている「環境」「医療」「介護」「海外向け事業」を対象とした融資商品「八千代成長事業応援ファンド」を114件・6,450百万円、当行独自の環境評価モデルを活用した「八千代ECOリンクローン」を17件・1,067百万円実行し、この分野に積極的に取り組む企業を支援しております。</p>
<p>② 電子記録債権（でんさい）の活用</p>	<p>事業をされているお取引先への資金供給の多様化・円滑化を図るため、「電子記録債権（でんさい）」の取扱いを開始しております。</p> <p>○当行での「電子記録債権（でんさい）」契約（利用登録）は137先となりました。（平成25年5月末時点 691先）</p>

平成24年度取組み実績

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(3) 人材育成への取組みの強化

① 目利き能力およびコンサルティング機能を発揮できる人材の育成

行員の職能別研修や実践研修、テーマ別研修等を通じて、総合的な融資判断力や情報収集力の強化を図っております。また、中小企業診断士の育成や、第二地方銀行協会等が主催するセミナー・研修会へ積極的に参加し、目利きやコンサルティング能力の向上を図っております。

- 各種職能別研修の他に、外部講師による自主参加型の「業種別研修会」（参加者：医療37名・小売36名）や「問題解決型提案営業研修」（参加者20名）を開催いたしました。
- ジェトロ（日本貿易振興機構）への行員の派遣や、医療・介護分野の専担者を本部に配置する等、専門性の高いお客さまの支援を行える人材育成・態勢整備を進めております。

平成24年度取組み実績

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の再生と地域社会への貢献

①健全な業容拡大・着実な成長を遂げるための経営基盤の確立

お客様の多様なニーズに対して、付加価値の高い情報提供に取り組んでおります。また、店頭営業を含む営業体制の見直しを行い、お客様の利便性や満足度の向上に取り組んでおります。

○専門性を高めてお客様のニーズに最適な金融商品を提案すべく、各店舗に資産運用担当やMA担当（マネーアドバイザー）を増員配置いたしました。

②環境問題への取組み

○本店において、ロビー等に設置した液晶ボードに本店建物の省CO2技術やエコ情報等を配信しております。

○高い環境性能と耐震性能を兼ね備えた本店建物では、行政・大学関係者・お取引先・地域のお客様等多くの方々に館内の見学ツアーを実施し、地域のみなさまへの環境啓蒙を実施いたしました。

○地球温暖化やヒートアイランド対策として、本店を置く新宿区にて開催されている「打ち水大作戦」の趣旨に賛同し、本店前の歩道に打ち水を行いました。

○相模原市の「さがみはら環境まつり」「きれいなまちづくりの日キャンペーン」等の地域イベントに参加いたしました。

○本店にて新宿区役所および環境への取組みを行っている事業者の方々のご出席のもと、「新宿区エコ事業者連絡会」を開催し、環境に関する情報の共有や意見交換を行いました。



ECOツアー



打ち水大作戦



「きれいなまちづくりの日
キャンペーン」での清掃活動



新宿区エコ事業者連絡会

平成24年度取組み実績

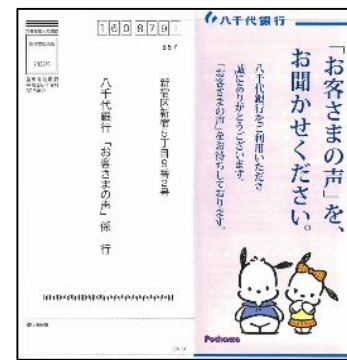
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

<p>① 地域コミュニティ拠点としての店舗力の強化</p>	<p>ご高齢のお客さまや障がいをお持ちの方等に配慮した、お客さまが安心して利用できる「人にやさしい店舗環境」を整備していく他、年金相談会や介護相談会、業務提携先の三井住友信託銀行と連携した相続個別相談会等を定期的で開催し、相談機能の強化に取り組んでおります。</p> <p>○ご高齢のお客さま等に安心してご相談、ご利用いただくため、店舗設備の改修を順次進めております。</p> <p>○ロビーでの顧客接点の拡大を通じたセールス機会の創出や顧客支援を図るため、ロビー担当の配置を進めております。また、年金相談会を72店舗、介護相談会を58店舗で開催し、相談機能の強化を図りました。三井住友信託銀行と連携した相続個別相談会も36店舗で開催いたしました。</p>
<p>② お客さまの声を通じた改善活動</p>	<p>○ホームページや店頭アンケートによる「お客さまの声」等の内容を受け、一部店舗のATMに「ステッキホルダー付手荷物置台」を設置いたしました。今後も順次設置店舗を拡大してまいります。</p>



介護相談会



店頭アンケート

@1989, 2013 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G540968

平成24年度取組み実績

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

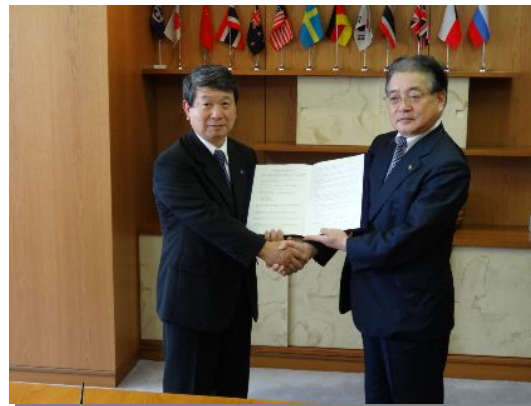
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

③ 豊島区・町田市との業務連携、協働

- お取引先の支援を通じた地域振興の一助として、平成24年5月に豊島区と、同年6月には町田市と、それぞれ「業務連携・協働に関する覚書」を取り交わしました。
- お取引先の海外進出支援の一環として、豊島区、町田市と協働によるセミナー等を開催いたしました。
- 町田市・町田商工会議所・当行の3者出資により、平成25年4月2日に「町田新産業創造センター」を開所いたしました。今後も引き続き人的支援やソフト支援面について町田市と連携してまいります。



左：高野豊島区長 右：当行酒井頭取



左：当行酒井頭取 右：石阪町田市長



町田新産業創造センター

平成24年度取組み実績

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

④ 川崎市との業務連携、協働

平成23年4月に設置した川崎事業法人室が中心となり、川崎市や川崎市産業振興財団を通じて川崎市内のお取引先の支援強化に取り組んでおります。

- 川崎市産業振興財団等と連携し、大企業が保有する特許等の知的財産の中小企業への移転を通じた新製品開発等への支援を行っております。
- 当行のお取引先が、メーカーの所有する知的財産の技術を導入して開発し、「川崎ものづくりブランド※」の認定を受けた抗菌塗料を使用した抗菌フィルムを、川崎市内4店舗のATMのタッチパネルに試行貼付しております。
- 「かわさき環境ショーウィンドウ・モデル事業」にて採択され、「川崎ものづくりブランド※」にも認定された「調光機能付き直流給電式LED照明システム」を久地支店に試験導入しております。省エネ効果については、使用電力量やCO2排出量を来店するお客さまに目に見える形でご案内しております。

※川崎市が市内の優れた工業製品・技術に対し、その価値を高め、広めていくブランド化支援



ATM抗菌フィルム貼付



調光機能付き直流給電式LED照明システム

平成24年度取組み実績

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(3) CSR活動

①「夢先生応援定期預金」を通じた教育面での支援

期間中に契約のあった同預金残高の一定割合を「JFAこころのプロジェクト」に寄付し、主に小学5年生を対象に、現役アスリートやそのOB/OGが「夢先生」として「夢を持つことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」を伝える「夢の教室」の運営を支援しております。

- 当行との関係が深い新宿区や府中市、相模原市、大和市等の周辺自治体と連携して、「夢の教室」を実施しております。
- 平成24年度は23校45クラスで「夢の教室」を開催し、1,430名の子供たちが授業を受けました。また、新入行員を対象にした新人研修や、行員の家族を対象とした「夢の教室」を行いました。
- 今後もJFAこころのプロジェクトの活動を支援すると共に、地方公共団体への働きかけを通じ地域の小学校での「夢の教室」の開催し、一人でも多くの子供たちに、夢を持つことの素晴らしさを伝えることで、教育面での地域貢献に取り組んでまいります。

②「大学野球応援定期預金」を通じた教育面での支援

地域におけるスポーツ振興を目的に、期間中に契約のあった同預金残高の一定割合を東京六大学野球・東都大学野球の各大学野球連盟に寄付しております。



夢の教室【夢先生：川上直子さん（サッカー）】

平成24年度取組み実績

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(3) CSR活動

③八千代銀行「夢」カップ・greenbird活動

○平成24年7月と9月に開催された女子サッカー大会「JFA東京ガールズエイト 東京都大会」および「関東少女大会 東京都大会」に協賛し、当行の名称を組み入れた大会として開催されました。
また、7月の大会初日には、開催施設周辺において、当行が提携しているNPO法人「greenbird」との協働による清掃活動を行い、教育および環境の両面からCSR活動を展開いたしました。

④地域でのイベントへの協賛・参画

主な協賛イベントは以下の通りです。

- 新宿区
 - ・「新宿クリエイターズ・フェスタ2012」、「新宿シティハーフマラソン」
- 渋谷区
 - ・「渋谷区くみんの広場・ふるさと渋谷フェスティバル2012」
- 相模原市
 - ・「相模原市少女招待サッカー大会」
- 大和市
 - ・「大和なでしこカップ'2012 (U-15・U-12)」
- 町田市
 - ・「武相マラソン」



八千代銀行「夢カップ」東京都大会



greenbirdとの清掃活動

 八千代銀行